

No.197

令和3年12月
定例会号
2022年2月1日発行

 いるま

市議会

だより

12月定例会

条例など34議案等を審議	2 P
定例会議決結果	3 P
令和2年度歳入歳出決算を認定	4 P
13名が一般質問	9 P
市民の声	16 P



第4回定例会

34 議案等を審議

- 令和2年度決算認定及び関連議案11件 ■専決処分1件
- 人事案件2件 ■条例9件 ■一般議案5件 ■補正予算3件
- 委員会提出議案2件 ■請願1件

条 例

新 規 条 例 一 部 改 正 条 例	議案第89号	入間市手数料の特例に関する条例 現在、住民票の写し等の証明書については、利用者証明用電子証明書が搭載された個人番号カード（マイナンバーカード）を使用し、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機（マルチコピー機）により、交付申請することができます。 この条例は、コンビニ交付サービスにより取得する証明書の申請手数料を、令和4年2月1日から令和5年3月31日まで10円とするものです。
	議案第88号	組織機構の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例
	議案第90号	入間市手数料条例の一部を改正する条例
	議案第91号	市長、副市長及び教育長の給与等に関する条例及び入間市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
	議案第92号	入間市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例
	議案第93号	入間市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び入間市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	議案第94号	入間市国民健康保険条例の一部を改正する条例
	議案第95号	入間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 国民健康保険税の税率を改定するとともに、地方税法等の一部改正に伴い、未就学児に係る被保険者均等割額を減額するため、条例を改正するものです。
	議案第96号	入間市水道事業給水条例及び入間市下水道条例の一部を改正する条例
	委員会提出 議案第3号	入間市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
委員会提出 議案第4号	入間市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	

議会人事

本定例会において、任期満了（令和3年12月31日）となる埼玉県都市競艇組合議会議員の選挙を行いました。

埼玉県都市競艇組合議会議員 紺野 博哉

令和2年度 決算の内容をチェック

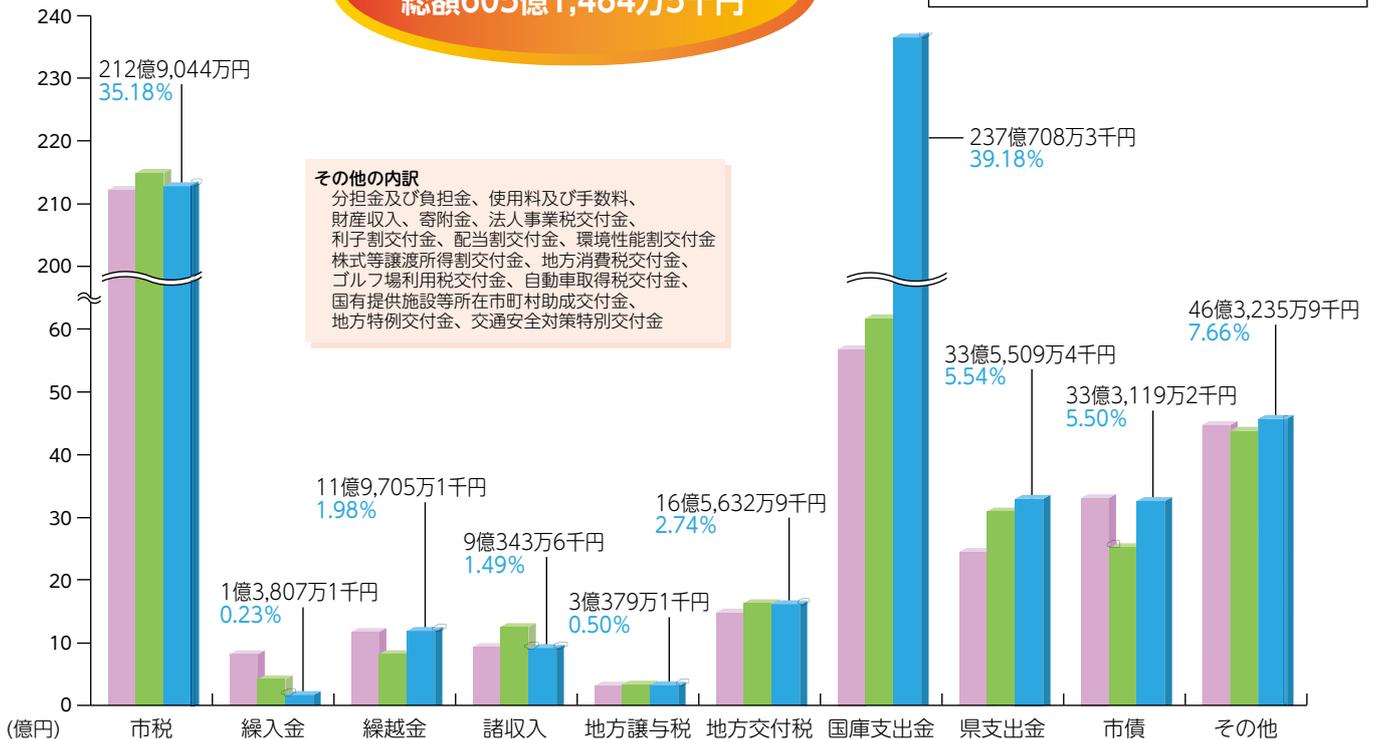
一般会計

自主財源245億4,318万1千円 (40.6%) 依存財源359億7,166万4千円 (59.4%)

市税負担額 市民1人あたり 14万5,022円
1世帯あたり 31万9,092円

令和2年度 歳入
総額605億1,484万5千円

平成30年度 令和元年度 令和2年度



その他の内訳
分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、法人事業税交付金、利子割交付金、配当割交付金、環境性能割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金

※表またはグラフ中の数値は、表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は一致しない場合があります。

令和3年第3回定例会において、決算特別委員会に付託され、閉会中の継続審査としていた令和2年度決算認定および関連議案については、令和3年9月24日から10月28日にかけて審査を行いました。

なお、審査の結果については、令和3年第4回定例会の開会日において報告され、討論と採決を行い、すべて認定及び原案可決と決しました。

議会運営委員会・特別委員会

議会運営委員会は、議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項を所管しています。

特別委員会は、必要がある場合に設置される委員会です。条例の定める出来事が起きた場合、または議決が行われた場合に設置されます。現在、入間市議会では、基地対策特別委員会、公共施設最適化検討特別委員会、決算特別委員会（決算審査期間のみ）が設置されています。

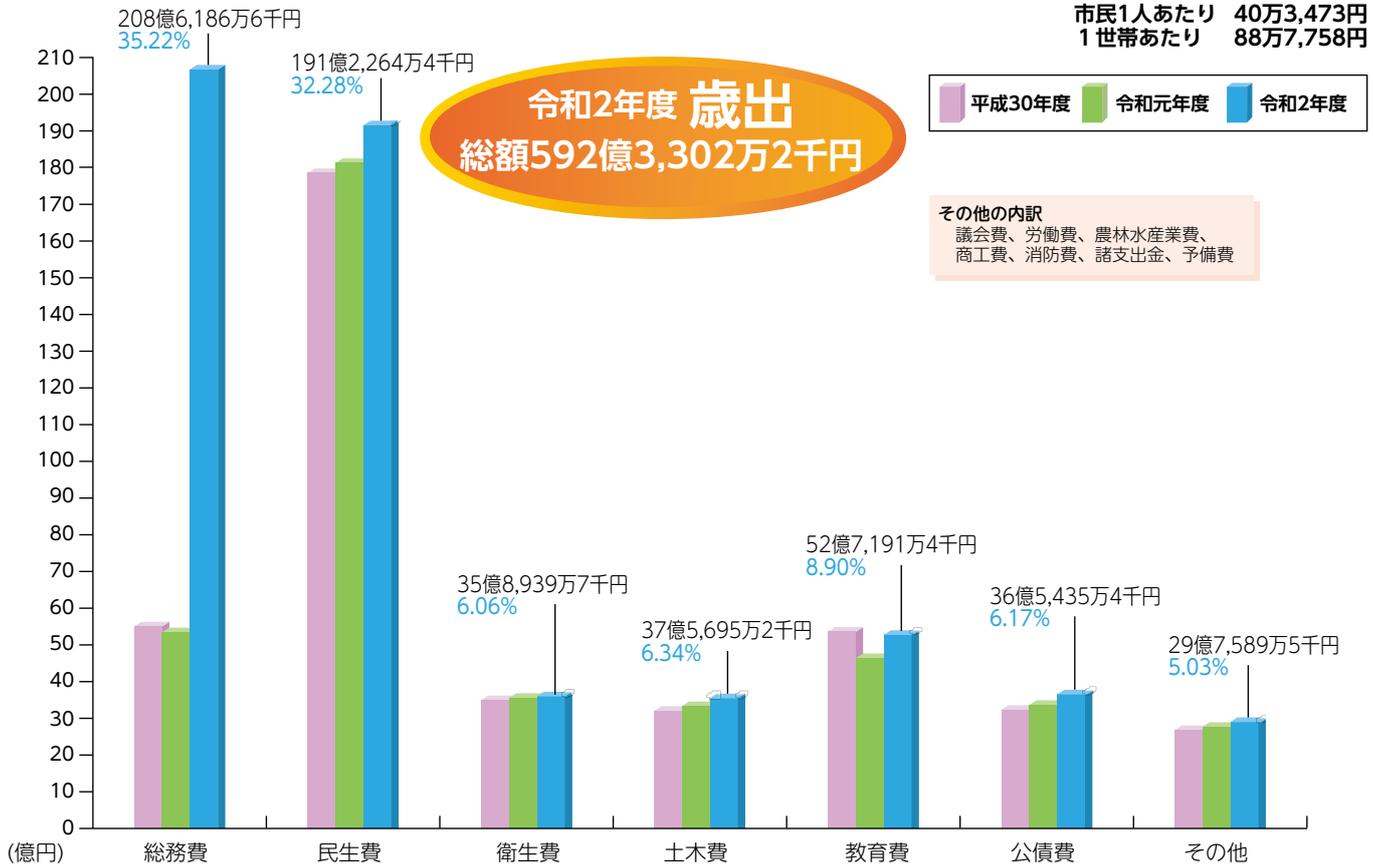
決算

令和2年度の決算について、市長から次のとおり概要報告がありました。
 国においては「感染症緊急経済対策」及び「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」を定め、国民の命と生活を守り、経済再生に向けた対策を実施してきました。当市においても、こうした対策にかかる国の交付金などを受け入れながら、市民のくらしと地域経済を支えるために必要な事業を積極的に実施したことから、令和2年度決算については過去最大の規模になりました。
 令和2年度の一般会計歳入歳出については、差引額12億8,182万3,247円となり、翌年度への繰越額8,614万1千円を除き、実質収支額は11億9,568万2千円で決算いたしました。

一般会計

令和3年4月1日現在 人口146,808人 世帯数66,722世帯

市民1人あたり 40万3,473円
 1世帯あたり 88万7,758円



令和2年度入間市特別会計決算一覧表

	歳入	歳出	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
国民健康保険特別会計	145億3,218万9千円	143億3,162万8千円	0円	2億 56万1千円
後期高齢者医療特別会計	19億 269万2千円	18億9,324万1千円	0円	945万1千円
介護保険特別会計	111億2,560万6千円	102億5,096万3千円	0円	8億7,464万3千円
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	2億6,197万1千円	1億3,703万6千円	1億2,002万5千円	491万 円
入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	7億8,117万6千円	6億3,594万9千円	4,272万9千円	1億 249万8千円
扇台土地区画整理事業特別会計	5億4,678万4千円	4億5,702万 円	1,397万1千円	7,579万3千円

実質収支額=歳入-歳出-翌年度へ繰り越すべき財源

討 論

一般会計・特別会計

令和2年度一般会計・特別会計の決算について、各会派が討論を行いました。その概要について報告します。

討論の詳細な内容は、市ホームページの「会議録検索」ページでご覧いただけます。(本定例会の会議録は次回定例会開会までに掲載する予定です)



自由民主党入間市議団

賛成

一般会計討論

歳入では、依存財源「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」国庫支出金他を受入れ一般会計決算は過去最大規模となった。

法人市民税は税率改正に伴い約2億5,750万円の減収であったが、感染症に配慮した市税全体の収納率は継続的に高水準が維持され、自主財源確保の成果が確実に表れた。

歳出では、新型コロナウイルス感染症対策の定額給付金支給や負担軽減などの生活支援事業、事業者支援給付金事業、全世帯配布の広報いるま号外で感染症情報を届けるなどの100以上の事業実施のため補正予算を編成し必要な対応が図られた。

GIGAスクール構想の全児童生徒へのタブレット端末導入、児童発達支援センター「ういず」開設、防災行政用無線デジタル化、不老川緊急治水対策、価値を生み出す行政改革でAI及びRPA導入等、ウィズコロナ下でも市民福祉向上に尽力の市長・職員に感謝し賛成。

日本共産党入間市議団

反対

一般会計討論

令和2年度の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け停滞した。政府には危機打開の施策が求められたが、全国一斉休校やアベノマスクの配布等、科学的知見の軽視とPCR検査の遅れ等で感染拡大と医療崩壊を招いた。市税全体では、前年度対比で約2億5千万円減額。個人・法人税割共に減額。法人税割は前年度比30.88%の減少。アベノミクスの経済政策による影響が市税の減収に反映した。国の悪政から市民を守るのが自治体の役割。市独自の100を超えるコロナ対策に全庁で取り組んだ点は評価できるが、国の言いなりの市政運営は問題。以下反対の事業。公共施設マネジメント事業施設の統廃合はコロナ対策・人口減少対策に逆行。庁舎建て替え事業のPFI導入は見直しを。基地対策費。行政改革大綱のサービス削減。個人番号カード交付事業。小中学校教職員の職員不足等、7事業に反対。

公明党入間市議団

賛成

一般会計討論

歳入では高止まりの経常収支比率に注視が必要。新たな歳入確保策の検討を求める。歳出では①地域情報化推進事業のAIやRPAを活用しての業務改善を評価②市民不安解消のため「緊急かわら版」の全戸配布を評価③住宅用省エネルギー設備への補助金等も含めた環境政策の見直しに期待④公明党市議団として長年要望してきた児童発達支援センターの開設を評価。関係各課との連携強化を求める⑤増え続けている発達障がい・不登校児童生徒への対策は、子ども未来室との連携や支援員の増強等に対応の強化を求める。その他、オンラインによる各種相談、学校のタブレット端末前倒し導入など、一気にICT環境が進められたことも評価。コロナ対応では職員が一丸となつての取り組みに感謝する。引き続き予断を許さないが、新市長のもと「誰ひとり取り残すことのない」入間市の実現に期待し賛成。

反対

日本共産党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

国保は加入者の年齢構成や医療費水準が高いが所得水準が低い等の構造的問題を抱えているため、国の財政投入の増額が必要。令和2年度交付金が500億円追加され入間市には900万円追加交付だが、不十分な財政支援。公的機関からの1兆円規模の財政支援が必要。反対の理由は、高すぎる国保税。国保世帯の平均所得は5年間で14万3千円も減少。協会けんぽよりも負担が重く、近隣ダイア5市では2番目に高い国保税。減免制度の拡充と子どもの均等割り廃止で軽減を求め反対。

(後期高齢者医療特別会計)

年齢で医療を区切る制度は問題。保険料の軽減制度、特例的軽減制度の改悪が続いている。平成29年度から徐々に廃止で令和元年度8.5割軽減を2年度7.75割軽減に引き下げた。当初9割軽減も平成29年度7割軽減、30年度5割軽減に改悪。制度見直しが必要。



入間市マスコットキャラクター「いるティー」

賛成

自由民主党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

都道府県が国保の財政運営の責任主体となり3年目が経過し、医療費の全額を都道府県が交付するなど、安定化が図られてきている。医療費水準が高く、所得水準が低いといった構造的な問題があるが、収納率や保険者努力支援制度などの特別交付金は評価できる。地域医療の確保を堅持し、健全な財政運営に努力することを要望し、賛成する。

(後期高齢者医療特別会計)

保険料の収納率は、前年度を0.15ポイント上回る99.41%と向上しており、制度の周知や収入確保に努めた結果である。保険料負担の公平性を図る施策を講じ評価する。誰もが安心して医療を受けることができ、高齢者世代と現役世代の医療費負担の公平性が図られることを要望し、賛成とする。

賛成

公明党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

歳入は根幹となる保険税が被保険者数の減少により1.4%の減少。収納率が前年度より0.2ポイント上回り、収税業務を収税課に一本化した結果と評価。減額傾向にある保険者努力支援金増額に向けては特定健康診査・特定保健指導の実施率向上、糖尿病などの重症化予防事業等一層の努力が必要。歳出は保険給付費の抑制を図ることが重要であり、市民の健康づくり事業の推進など事業の健全な運用実現に向け、更なる努力を要望し、賛成とする。

(後期高齢者医療特別会計)

高齢者医療を社会全体で支える保険制度。被保険者の93%が1割負担であり、安心できる制度として定着。医療費の抑制を図るため、フレイル予防など高齢者の健康維持と共に、若いうちから健康増進を図る市民意識向上策を要望し、賛成とする。

政務活動に関する調査特別委員会の報告（要約）

「武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業に伴う清算金についての要望書」への議員の関与を調査する目的で提案され、設置された。

調査事項は、①清算金の署名活動後に、議員主導により要望書が作成され、提出されたのではないかということ。②要望書及び署名を利用し、議員倫理上、不適切な政務活動が行われたのではないかということ。

①については、署名を集めた際にお願いした要望文書に、要望書提出時には、要望事項が追加されており、要望書における署名の流用があったと認められる。②については、議会での一般質問における自身の要望事項を達成させるために、要望書や署名を利用したと推察され、議員倫理上、不適切な政務活動であったと認められる。



金澤議員によるパワーハラスメントに関するアンケート調査の報告（要約）

この調査は、市長より「入間市議会議員の資料請求手続きの遵守について」依頼を受け、実態を把握するため実施しました。

市議会議員が資料請求の手続き無しに、感情的な口調で重ねて公文書の閲覧を求めたことから、職員が対応に苦慮した、との事実があり、事実であれば極めて重大であるので、市役所職員の方々に対し、アンケート調査を実施させていただきました。

この調査は、10月4日から8日までの5日間で行いました。対象者は、個人用パソコンが貸与されている775人で、回答者数は339人、回答率は43.74%となりました。

調査事項は全部で7つ、例えば、「資料請求時にパワハラを受けたと感じたことは、ありますか」との質問に対し、「ある」が52人、15.34%、「ない」が287人、84.66%でした。

金澤議員の謝罪（要約）

このたびの、武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業に関する、2月定例議会での発言やその後の要望書と署名活動の問題、また、9月議会における議案質疑に関する不適切な調査活動や資料請求行為など、私の行動に起因する一連の問題について、議会での審議や協議を要し、多くの皆様の手を煩わせることとなり、皆様にご迷惑をお掛け致しました。誠に申し訳ございませんでした。

また、これまでの、私自身の言動や振る舞い、議会ルールを軽視した行為によって市職員の皆様に多大なる苦痛やご迷惑をお掛けしてきたことを猛省しております。

この場をお借りして、心から反省し、深くお詫び申し上げます。

今後は、議会ルールを順守した議員活動に努め、市民に奉仕する市職員の立場やお気持ちに配慮し、皆様にご敬意をもって接して参りますことをお誓い申し上げます。

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



投票率向上、女性活躍について

吉田 賢一 議員

- **質問** 投票率向上について
選挙管理委員会委員長 投票所の混雑状況の可視化、選挙への意識向上等、様々な啓発活動、PR大使の起用を検討していきたい。
- **質問** コロナ対策について
健康推進部長 86.20%の方が2回目の接種を受けられている。2回目はまだの方には、個別に対応している。概ね8ヶ月を経過した方から、3回目の追加接種もしていく予定。県と一層強固な連携体制を構築し、きめ細やかな支援を行っていく。
- **質問** 女性の活躍の推進について
市長 男女が共に仕事や家庭を両立させるワークライフバランスの実現が難しい現状や、子育ては女性といった固定的な性別

役割分担意識や無意識な思い込みが、女性活躍を妨げる要因となっている。

女性活躍の推進のためには、ワークライフバランスの実現のための環境整備と意識改革が必要不可欠な課題となってくる。持っている個性や能力を發揮できる入間市を目指し、男女共同参画を推進していきたいと考える。仕事と子育ての両立のため、一時預かり、ファミリーサポート、子育て緊急サポート、病後児保育などの事業があり、子育て支援の整備を図っている。



男女共同参画事業の様子



次世代に贈る「あすの原風景」

双木 小百合 議員

- **質問** 「入間市景観 50 選」の状況変化と評価、点から線、面への景観把握の展望は。
環境経済部長 選定から 27 年間で郷土意識向上の当初目的は達成。新たな初日の出スポットなど景観情報を収集し魅力を発信。
- **質問** 森林環境譲与税活用で森林保全を。
環境経済部長 同税活用方針は加治丘陵を中心とした施策への用途を基本と考える。
- **質問** 樹木・樹林管理の現状と課題 (1) 加治丘陵整備人材 (2) 金子駅前桜並木老木化。
都市整備部長 (1) さとやま自然公園区域保全整備を担う加治丘陵山林管理グループやボランティア団体の高齢化が顕著。今後担い手の確保・育成、適切で安全な山林管理体制維持策を他市事例含め研究する (2) 植樹 80 年の桜の街路樹診断で根の支持力低

下、倒木危険性判断により伐採木もある。

質問 (1) 次世代に贈る「あすの原風景」は。(2) その将来像実現手段と人事交流連携とは。(3) あすの担い手の声の聴取と対話は。

市長 (1) 「来てよし、住んでよし、働いてよしのまち入間」を具現化 (2) 多様な人事交流、未来共創推進室の整備、官民連携基盤の構築によるSDGsやDX推進と政策転換で、30～50年先を見据え新たな成長段階へ (3) 市民と対話し、声を聴き、ありがたい姿を発信、大切なまちづくり参画意識の醸成に取り組む。



入間市景観 50 選 (平成 6 年策定)
金子駅と桜並木 (写真提供入間市観光協会)



教育行政・公園行政について

池島 司 議員

質問 児童生徒に配布したタブレット端末のセキュリティについて、(1) 個人に割り当てられたID・パスワードの管理方法は。(2) タブレット端末を利用したいじめの実態把握は。(3) タブレット端末を契機にしたいじめの発生予防策を。

教育部長 (1) 保護者にはID・パスワードを適切に管理し、他人に利用されないように管理する旨を伝えている。学校にはパスワード等が書かれたメモがある場合、その保管方法について留意するよう周知している。(2) 一年間に三つの調査を行い、実態把握に努めている。現在タブレット端末を利用したいじめについて報告はない。(3) 児童生徒の情報リテラシー能力、コミュニケーション能力を養うために、道徳教育の充実

を図っている。

質問 国道463号バイパス西側かつ、上藤沢中学校西側の上藤沢地域に公園の増設を。
都市整備部長 現在、市長公約である「公園遊具の改修・充実」を踏まえ、公園の総合的な見直しの中で整備方法を検討している。当該地域は市街化調整区域内であり、住宅が密集した地域には、既に公園が設置されていることから、新たに公園を増設することや拡大することは難しい。



タブレットを活用した授業の風景

質問 廃棄物減量・削減の取組みについて当市の資源化率の評価、回収方法の課題。
環境経済部長 当市の資源化率は21.7% 県の平均資源化率23.5%と比較しても平均を下回っている状況であり、今後積極的に資源化対策を講じていきたい。

質問 リサイクルプラザの更なる取組み。
環境経済部長 資源が効率的に循環する仕組みを構築していき、資源物回収の拠点の拡充、リサイクル業者と連携し、持続可能な資源循環への取組みを検討していく。



循環型社会に向けてごみ減量、再生利用推進を実践するための拠点施設

入間市駅前側留保地活用について

内村 忠久 議員

質問 ジョンソン基地跡地利用計画・見直し基本方針とはどのような内容か。

副市長 基本方針に基づき利用計画を見直し、方向性を明確かつ具体的にしていく。

質問 民間事業者との連携と市民意見の反映を具体的に、どの様に進めていくのか。

副市長 計画の見直しに向け独立行政法人都市再生機構と、まちづくりの推進に関する協定を締結し取組み、実績に基づき知見やアドバイス等の協力を頂きコンセプト等を検討していく。利用する世代の意見も聴取し多くの市民の意見を聞き検討していく。

質問 留保地活用に向けたビジョンは。

市長 まちの賑わいの創出が流入人口、定住人口増加に結び付き、交流人口も含め、多くの人を訪れるスポットにしていきたい。

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



ヤングケアラー 公開事業見直し

野口 哲次 議員

- **質問** ヤングケアラーの「育つ権利」を回復・保障するため次の対応を検討しては。①関係機関の支援マニュアルの作成。②行政の相談窓口の設置と専門支援員の配置。
- ③新たな支援サービス。
- **こども支援部長** ①他自治体を参考にマニュアルを作成する。
- **市長** ②こども支援部に窓口を置き寄り添った相談支援を行う。③困窮世帯への介護保険料減免、幼い兄弟がいる場合などのレスパイトサービス、学習支援等を検討。
- **質問** 去る9月に公開事業見直し「入間ドック」が開催され、対象10事業のうち、9事業が要改善、1事業が「国・県・広域（で実施）」の結果となった。今回の取り組みは、1事業当たり60分、市担当者の説明10

分、評価者と市担当者との議論35分、市民判定人の多数決による結論とコーディネーターによる総括15分で行われた。判定人たる市民は、外部から来た評価者の議論を聞いて要改善等の判断をする。時間がかかっても、関係者等の意見も聞き、市民自らも質問するなど、丁寧な進め方が良いのでは。
市長 限られた時間であるが、外部の有識者の客観的な視点からの指摘に市民がどう反応するか見ることが出来る有効な場である。



防犯カメラ設置を、 18歳成人

古仲 リカ 議員

- **質問** 安全・安心なまちづくりの推進として(1)犯罪抑止効果が期待できる防犯カメラを小・中学校、通学路や繁華街へ設置を(2)子どもたちを見守るセンサーによる見守りシステム導入の検討を。
- **市長** (1)防犯カメラ設置は犯罪抑止に有効であると認識している、設置までの手続きの改善や周辺住民の理解を求め、コスト等庁内関係課との調整を含め検討していく。(2)全児童・生徒に配布したタブレット端末はLTE方式でGPS機能が備わっていることから防犯対策にも活用できると考えられる。保護者へのアンケート調査結果を踏まえながらタブレット端末の有効活用を検討していく。
- **質問** 18歳成人について(1)成年年齢引き下げによる消費者被害を回避する教育を(2)

R4年1月の成人式の開催方法、対象者は。
教育長 (1)小学校高学年から消費者教育を学習、又中学校2年生全員へパンフレットを配布しトラブル回避の学習を行っている。家庭へも周知し消費者被害防止に取り組む(2)R4年1月10日に入間市産業文化センターにて5部制で開催、対象者はH13年4月2日～H14年4月1日までに生まれた方、オンラインによる限定同時配信を実施、彩の森入間公園に特設フォトブースを設置する。
【その他】休耕地活用、ウィズコロナ対策



新成人へ向けて「18歳から大人」4省庁による啓発チラシ（消費者庁HPより）



**万燈まつり・
ごみ減量推進事業**

大野 勉 議員

質問 万燈まつりは、2年続けて中止となったが、アフターコロナを見据えて、どのような取り組みを考えているか。

市民生活部長 新たな手法等を研究し、市民が文化に触れる機会を作り「イベントによるまちづくり」を推進したい。

質問 入間市郷土芸能連合会等への教育委員会としての支援策の様なもの。

教育部長 引き続き活動支援や協働事業を実施し、伝統文化の普及・伝承に取り組むとともに、文化活動の支援を行っていく。

質問 市長として万燈まつり等「イベントによるまちづくり」に期待するものは。

市長 歴史や伝統文化を大切にしながらも、時代に即したイベントに変えていくことで、持続可能な入間市を創りあげたい。

質問 化石燃料は「過去の太陽の恵み」であり、地球温暖化は喫緊の課題である。市としても本気で取り組まなければならないと思うが、これからのごみ減量化対策は。

環境経済部長 ごみの分別状況を把握するため組成調査を実施し、ごみの分別と減量化を徹底して取り組んでいく。

質問 「上手なコンポストの使い方」といった手引きの様なもの配布は。

環境経済部長 簡易的な資料であれば、補助金手続きの際配布を予定する。



コロナ禍前の入間万燈まつり



**性暴力・交通行政・
公園行政**

細田 智也 議員

質問 幼児期などの子どもにおける、性被害対策の必要性の認識は。

子ども支援部長 幼児期の子どもは、性被害を受けたとしても性被害と気付かず、被害後時間が経過し、心に大きな傷を受ける場合がある。そのため、日常保育の中での見守りやケアは必要と認識している。

質問 今後の取り組みは。

子ども支援部長 水着で隠れる部分である「プライベートゾーン」を、他の人に見せたり・見たり・触ったり、嫌なことをされたら訴える事などを教えていきたい。

質問 「生命（いのち）の安全教育」への教育委員会の対応は。

教育長 文部科学省、県教育委員会の方針に基づき、積極的に「生命（いのち）の

安全教育」を推進していく。

質問 犯罪被害者等支援条例の検討状況は。

市民生活部長 関係団体と意見交換を行っており、令和4年度の制定に向けて、条文の内容を検討している。

質問 新光中央公園のトイレ改修の検討状況は。

都市整備部長 改修の必要性は認識。なるべく早期に対応できる準備を進めていく。

【その他】運転免許証の自主返納について



プライベートゾーン

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



コロナ禍の学校教育・ 学校統廃合

松本 義明 議員

- **質問** コロナ禍において子ども達にもっと目を向け対策・支援をすべきである。コロナ禍の学校教育で大切にしていることは。
- **教育長** 可能な限り授業や学校行事を継続した。学校行事を通じて集団活動による体験的な学びと実践を大切にしている。
- **質問** 児童・生徒・教職員の感染拡大防止対策の徹底と感染急拡大への備えは。
- **教育部長** ガイドラインに基づき取り組んでいる。感染急拡大の対応も定めている。
- **質問** タブレット端末の更なる活用に向けて担当者の配置と全校での展開を。
- **教育長** 支援員の配置を検討する。モデル校、研究委員会での実践例を広めていく。
- **質問** 小・中学校の統廃合・再配置に関する教育委員会の取り組みと今後の方針は。

教育長 教育環境の向上、コミュニティスクールを目指す。「(仮称)学校統廃合委員会」で新しい学校について協議していく。

質問 宮寺・二本木地区新設小学校の進捗状況と前提条件に安全な通学路整備を。

教育部長 用地の選定・取得については調整中である。通学路の安全確保と新設校の整備は一体という認識をもっている。

【その他】

全小中学校の通学路の安全対策の徹底についてソフト面・ハード面の対策を質問



宮寺小学校



狭山小学校

統廃合が予定されている宮寺小学校・狭山小学校

られるよう努めていく。

質問 佐渡市(入間の海)、ドイツヴォルフラーツハウゼン市、中国奉化区との今後は。

市民生活部長 感染症が収束に向かったら安全対策を徹底し、事業を継続したい。訪問団の派遣や受け入れを再開したい。今後、市長のオンライン会談や音楽のコラボプロジェクトも予定している。このような時代だからこそ、友好都市交流を実践し、国際社会の平和に貢献すべきものとする。



楽しい入間の海(佐渡市)



人事行政・教育行政・ 姉妹都市

鈴木 洋明 議員

- **質問** 職員に対して「服務規律の確保」について周知しているのか。組合活動の健全性を維持するために協議すべきでは。労働組合と市執行部の意見交換の機会を持ち良好な関係を保っていただきたい。
- **総務部長** 職員は政治的行為について学び選挙のたびに全職員に通知。問題点は申し入れていく。労使において調整を図り協議や意見交換を行っている。職員組合という合議体としての健全な活動を望む。
- **質問** 学校トイレの洋式化について実効性のある計画で早期完了を。
- **教育部長** 改修後のトイレについては多くの喜びの声をいただいた。トイレは大変重要な設備である。快適な学校生活を送れるよう少しでも早く学校トイレ改修を進め



物価高騰問題と土地区画整理問題

佐藤 匡 議員

質問 農業への対策を伺う。

市長 市としては国や県の支援対策が行き届くよう各農業者への聞き取りや情報提供を行い、県や農業協同組合などの関係機関と連携して対応しているところである。令和2年度においては農林水産省の高収益作物次期作支援交付金の事業推進を行った。茶業者に対し51件5千394万円を、野菜生産農家にも9件400万円が交付されている。

質問 生活困窮者への対策を伺う。

市長 2021年11月19日に閣議決定されたコロナ克服新時代開拓のための経済対策に基づき、生活困窮者への原油高騰の影響を軽減するため灯油等購入費助成事業の実施に向け現在準備を進めているところである。

質問 武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業

についての意見や苦情の件数等を伺う。

市長 約1900通の通知発送後、10月末まで交付が6割、徴収が4割、計約250件の問い合わせがあり、徴収清算金の問い合わせ内容は10年間への分割期間の延長を希望する等の申請手続きに関するものが約57%、清算金の金額に関するものが約15%だった。

質問 市民に寄り添った解決を求める。

市長 地権者の経済状況などの理由により清算金の金額を増減することは土地区画整理法上できないものと認識している。



燃料の高騰



公民館の地区センター化は撤回を

安道 佳子 議員

質問 13の地区公民館を9つの地区センターに統廃合する計画素案の市民・職員への説明会と意見反映は行ったのか。

企画部長 市ホームページで公民館関係者に動画配信説明を実施し、意見を募った。アクセス数は980件、183件の意見をいただいた。職員向けに庁内パブコメを実施した。

質問 市民・職員の意見の内容は。

企画部長 防災拠点の安全性、施設改修や更新、地域づくりや職員配置等の意見。職員の意見もほぼ同様の内容であった。

質問 市民も職員も計画に疑問や不安を抱えている。丁寧な説明が必要。全市民に向けた説明会を実施すべきでは。

企画部長 市民への説明は必要との認識。市民の声を聞き必要に応じて改善を図る。

質問 地区センター化では、市民サービスの削減、職員の業務負担増、施設改修で経費負担増などメリットが見当たらない。計画は撤回し、再検討すべきでは。

企画部長 マネジメント計画に沿って計画通り実施の方向である。

質問 庁舎建替え計画の事業内容が変更し経費が増加。コロナ禍で先行きが不透明。事業は縮小し経費削減を図るべきでは。

総務部長 地震が多発。庁舎の建て替えは急務。市民説明は適切な時期に実施する。



扇町屋公民館



久保稲荷公民館

地区センターになる扇町屋公民館と分館の久保稲荷公民館(令和10年廃止)

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



**野田まちづくり
博物館・市政全般**

宮岡 治郎 議員

- **質問** 野田の土地区画整理済の区域について。(1)街路の整備の工夫によって、通り抜け車両が抑制されていると思うが。(2)公益的な特性を、周辺へ波及させてはどうか。
- **副市長** (1)北側のニュータウンに直結させず、歩道は確保され、交通事故は少ない。(2)西側に下水道整備をし、南側の商業施設の充実等、周辺のまちづくりに効果がある。
- **質問** 博物館の研究について。(1)市内入間川のアケボノゾウの足跡化石等の再調査の成果は。(2)『むかしのくらしと道具展』で、新たな資料収集・活用・取組の推移は。
- **教育部長** (1)化石地層は、従来約150万年前と考えられて来たが、約240万年前と分かった。(2)25回目となり、新しい対応では、家庭用ゲーム機等も、展示品となっている。

質問 市長就任から1年を振り返って。(1)選挙公約と1年目の実績は。(2)現状の課題を踏まえて、独自の政策の展望と取組は。

市長 (1)外部人材の登用、いるまPR大使の任命、ロケーションサービスの実施、公共事業の見直し、官民連携事業の推進等。(2)まずはコロナ対応。厳しい財政状況があり、歳入の増加に向けた企業誘致として、工業系土地利用推進エリアを設定。広報戦略として、職員研修で未来構想の目的と、どう実行するかを学び、担当課を設置する。



青い❁は、『工業系土地利用推進エリア』
※土地利用構想図の一部を掲載

入間市議会について

本会議

議会は、年4回、おおむね3月、6月、9月、12月に定例会が開催されます。そのほかに、必要に応じて臨時会が開かれることがあります。

本会議では議案や請願等を審査し、議会の最終意思を決定します。また、提出された議案や請願の審査のほかに、市政全般にわたって一般質問を行います。

本会議の記録はインターネットで検索できます。

委員会

市議会では取り扱う問題は、数が多く内容も幅広い分野にわたっています。そのため議案や請願などを部門に分けて、専門的に十分な審査を行います。

委員会には、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会があります。

現在、入間市議会には、総務常任委員会、都市経済常任委員会、福祉教育常任委員会の3つの常任委員会、議会運営委員会および2つの特別委員会が設置されています。

諸会議（本会議、委員会以外の各種会議）

市議会には、本会議（定例会・臨時会）、委員会（常任委員会、議会運営委員会、特別委員会）のほかに、さまざまな課題を議論するための各種会議が設けられています。

現在、入間市議会には、全員協議会、各派代表者会議、議会広報委員会、市議会図書室運営委員会、議会防災検討委員会が設置されています。



入間市インタビュー 市民の声

interview 1



入間市の自然と歴史に癒されて

仏子

田中 久雄 (非常勤講師)

私は自然や歴史について興味があり、日頃から散歩をして周りの景色を見たり、地域の歴史について本を読んで調べたり講座などに参加して学んだりしています。

入間の四季は本当に美しいです。春は入間川や霞川の土手に咲く満開の桜。夏は一面の新緑の茶畑。秋の加治丘陵を彩る紅葉。そして冬は澄んだ空気の中、遠くに見える富士山と秩父の山並み。日々変化する自然の美しさに感動しつつ散歩をしています。

歴史を調べてみると、古くは源平の時代に活躍した金子十郎や円照寺に板碑が残る加治家貞。また、かの渋沢栄一とも親交があり黒須銀行や豊岡大学に関わった繁田武平。さらに製糸業・織物業で世界に名を馳せた石川組製糸の西洋館や平仙レースなど歴史上の人物や旧跡もたくさんあります。

私はこのような入間市の自然の美しさや歴史のロマンに日々癒されています。

interview 2



自然界との共生

上谷ヶ貫

比留間 一男 (獣医師)

「キョッキョ キョキョキョキョ」のけたたましい鳴き声が裏山から頭を飛び越える。ホトトギスだ。茶摘みの頃、カッコウとかさなると「今年も来てくれたな！」と心が弾む。コジュケイの「チョットコイ」の鳴き声は実に忙しい。「さとやま自然公園」を背にした生活は自然の風とともに始まる。古文書は金子山を「脈ヲ甲斐国雲取山ニ取り全山七分ハ松三分ハ樅杉」と記し祖父とのマツタケ狩りは合掌して採った。粗朶はオバサン達が背負い籠で集めた。川南は茶園と野菜畑が主力となり大型機械化した。自家菜園も活発だ。キジはもとよりキツネ、タヌキが、山にはイノシシやシカも来る。ニホンカモシカが定住化した。アライグマのような侵略的外来生物が侵入し農作物に被害を与え足跡を残す。生物多様性の時代、どんな取り組みが望まれるか。好ましい知識の普及啓発が期待されます。



いるま市議会だより No.197

表紙 / 加治丘陵
ニホンカモシカ
撮影 / 市民カメラマン
横山 満さん
編集 / 議会広報委員会
◎宮岡 治郎 ○吉田 賢一
小出 亘 池畠 司
大野 勉 双木小百合
細田 智也 金澤 秀信
内村 忠久
発行 / 入間市議会

インターネットアドレス
<http://www.city.iruma.saitama.jp/gikai/>
「入間市議会」で検索

3月定例会日程案

- 2月 16日 (水) 開会
- 2月 22日 (火) 総括質疑
- 2月 24日 (木) 総括質疑
- 3月 2日 (水) 総務常任委員会
- 3月 3日 (木) 都市経済常任委員会
- 3月 4日 (金) 福祉教育常任委員会
- 3月 8日 (火) 一般質問
- 3月 9日 (水) 一般質問
- 3月 10日 (木) 一般質問
- 3月 17日 (木) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会議務局へお問い合わせください。



問い合わせ 〒 358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目 16 番 1 号 (04)2964-1111 (議会議務局 内線 5112・5113・5114)